

<p style="text-align: center;">Devotion Guide/ユースマナ</p> <h1 style="text-align: center;">Youth Manna</h1> <p>マルコ1:35 さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/20(月)</p> <h2 style="text-align: center;">雅歌1章</h2> <p>今日から雅歌。みんなは読んだことがあったかな？雅歌のテーマは愛。結婚や男女の関係から、神様と私たちの関係性も学ぶことができるよ</p> <p>まだまだ遠い先のこのように思えるかもしれないけれど、自分が結婚や恋愛に対してどんなイメージを抱いているのかを考える良い機会だと思います！</p> <p>15節「ああ、あなたは美しい。わが愛する者よ。」</p> <p>みんなはどんな時に愛を感じるだろう？1章では外見にコンプレックスを抱える人間の弱さ(5-6v)と、愛する人の言葉(8v)がそれを晴れやかにすることを伝えています。言葉で愛や感謝を伝える大切さを学び、そして同じように御言葉によって愛を伝えてくれる神様を近い存在として今週も歩んでいこう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/21(火)</p> <h2 style="text-align: center;">雅歌2章</h2> <p>1,2節を読もう。女性は自信がなさから、自分を野生の草花みたいだと言う。それに対し男性は「あなたは茨の中のゆりだ」と語り、誰よりも美しいと伝える。君は自分に自信がないと感じることはあるかな？そんな君にイエス様は雅歌の男性のように語ってくださるよ。</p> <p>10-14節の男性の言葉も読んで、心に残った言葉をノートしておこう。イエス様は君のことを本当に大切に思っておられるよ。</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/22(水)</p> <h2 style="text-align: center;">雅歌3章</h2> <p>この箇所では、女が床に着いても眠れず、「恋い慕う方」を探しに行き、見つけ出し結婚の備えをするという場面が書かれている。この時代、夜に歩き回るのはさまざまな危険が伴うことであった。女は危険を顧みず、男を見つけて、自分の母親に結婚相手として紹介する。</p> <p>イスラエルでは、結婚式の時に花婿が花嫁を迎えにくる習慣があったようだ。6節からは、60人の兵士に守られ、きらびやかな駕籠に乗って迎えにくる花婿の姿が記されている。</p> <p>神様が備えてくださっている結婚の祝福を、将来十分に受け取ることができるよう祈ろう！</p>
<p style="text-align: right;">2022/6/23(木)</p> <h2 style="text-align: center;">雅歌4章</h2> <p>婚礼に際して、花婿が花嫁に捧げた歌である。なんとなく分かる例えもあるが、4vの首の例えは私にはよく分からない。ただ、当時用いられる最大級で花嫁を賞賛したのだろう。</p> <p>教会の賛美でもあるように、花婿はキリスト、花嫁は教会に例えられる。花婿であられるキリストが、花嫁である私たちクリスチャンをすべてが最高に美しいと言っている。</p> <p>キリストの愛は、私たちが想像する何倍も大きく、十字架にかかるほどである。</p> <p>神様の愛にこたえる選びをしよう!!!</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/24(金)</p> <h2 style="text-align: center;">雅歌5章</h2> <p>▶1節で2人は結婚したようだ。友を呼んで結婚式のお祝いをしている。</p> <p>▶2-7節は、色々な解釈がある。</p> <p>①帰宅時間に遅れた夫説 妻の葛藤が伝わってくる。相手(家族、友達、恋人)を愛したいと思いながら、自分の気持ちに邪魔をして上手く行動できなかった経験はないかな？聖書の語る愛とはなんだろうか？</p> <p>②妻のみた夢説 本当は夫のいる場所を知っていた(6:2)から、7節までは夢という説。妻は夢の中でまで愛する人を慕い求めていた。</p> <p>③キリスト(夫)と教会(妻)の比喩説 戸の外に立つ夫の姿は黙示録3:20 見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をし、わたしを連想させる。</p> <p>▶この箇所から、神様があなたに語られることはどんなことだろうか？</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/25(土)</p> <h2 style="text-align: center;">雅歌6章</h2> <p>今日も夫婦の関係のことがかかっているね。ここで書かれている夫婦の関係は、新約聖書で語っているキリストとその花嫁である教会(私たち)の関係を表している意味もあるよ。</p> <p>夫が自分の妻に向かって、美しい、愛らしいといろんな言葉で語りかけていて、とても愛していると思っているのが読んでいて伝わるね。イエス様も私たちのことをそのように愛しく見ていてくださることを覚えていよう！</p> <p>最後には「帰りなさい」という投げかけが繰り返されている。神様から離れてしまったり、従えない部分があったりしても、神様は立ち返ることを待っていてくださるお方なんだ。いつでも神様の愛に戻ることができるように祈っていこう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/26(日)</p> <h2 style="text-align: center;">雅歌7章</h2> <p>人は誰しも愛されたい、優しくされたい、守られたいという願いを持つ。しかし一方的にされるだけではなく、愛し、優しくし、守ることで私たちの心は満たされるのではないだろうか。</p> <p>マタイの福音書7:12でイエス様は「人からしてもらいたいことは何でも、あなたがたも同じように人にしなさい」と語られている。</p> <p>これは人に対してだけでなく、神様に向き合う時も同じこと。神様の愛を受けることを願うだけでなく、自分自身が神様を愛し、神様のために仕えていくことで、私たちの心は喜びで溢れるのではないだろうか。</p> <p>自分自身がしてもらいたいと思っていることを、神に、人にしているだろうか。</p> <p>静まり、自分のこころと歩みを振り返ってみよう。</p>